



県道太田大間々線(新田藪塚工区) バイパス整備



一級河川大川(下流工区) 河川改修



県道古戸館林線(古戸交差点) 交差点改良

よ く わ か る
公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

太田地域

令和7年度版

太田地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	河川改修	太田市細谷町	一級河川聖川	1
2		太田市中根町 ～新田市野井町	一級河川大川	2
3		太市内ヶ島町	一級河川休泊川(太田工区)	3
4	電線共同溝	太田市本町～東本町	県道前橋館林線(本町工区)	4
5	交差点改良	太田市新田大根町	県道前橋館林線(新田大根町交差点)	5
6		太田市東金井町	国道407号(追分交差点)	6
7	現道拡幅	太田市上強戸町～吉沢町	県道足利伊勢崎線(強戸工区)	7
8	バイパス整備	太市新田下田中町 ～小角田町	県道大原境三ツ木線(新田工区)	8
9	歩道整備	太市新田木崎町	県道新田上江田尾島線(新田木崎町工区)	9
10		太市新田赤堀町	県道新田上江田尾島線(新田木崎2期工区)	10
11		太市新田大根町	県道大原境三ツ木線(新田大根町工区)	11
12		太市福沢町	県道妻沼小島太田線(福沢町工区)	12

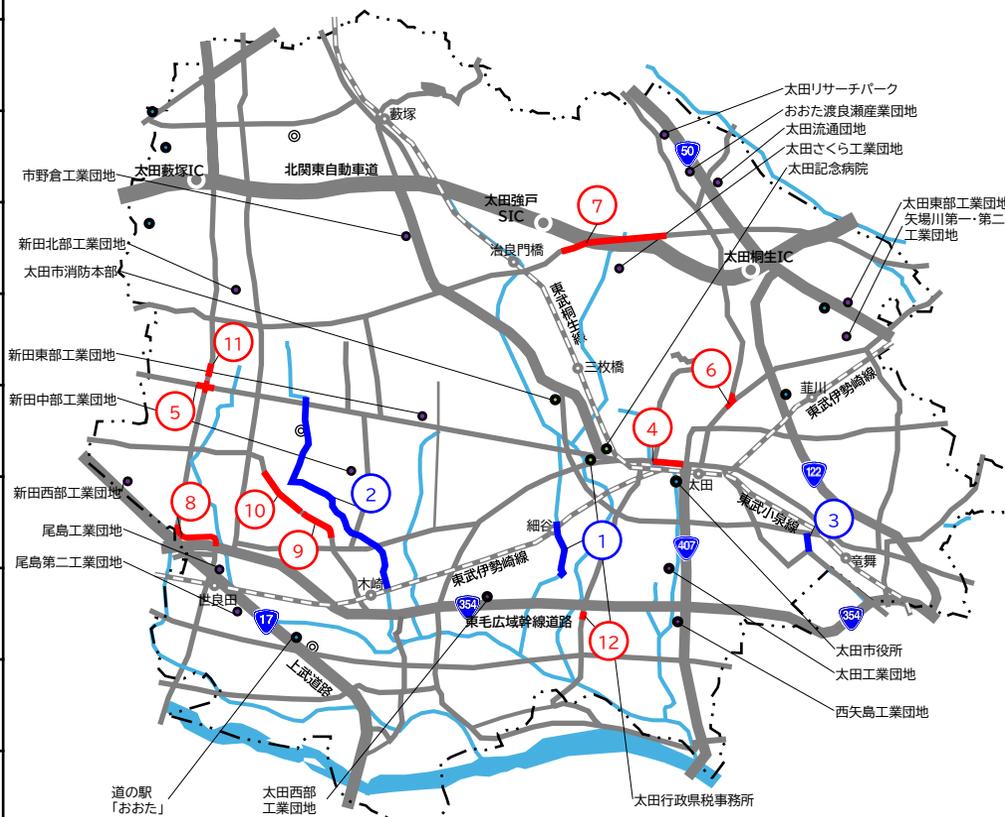
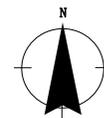
凡例

【事業分野区分】

- 道路事業 (赤線)
- 河川事業 (青線)
- 砂防事業 (茶色丸)
- その他事業(下水、住宅等) (緑色丸)

【その他】

- 主要な防災拠点(第1次防災拠点)
- 主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
- 主要な物流拠点(産業団地)



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を広げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・用排水路や固定堰の影響により、川があふれそうになったり周辺道路が冠水している。(地域住民)
- ・周辺地域住民の意向をふまえて計画し、安心して静かな生活ができる場所にしてほしい。(地域住民)

- 事業の概要**
- 事業箇所: 太田市細谷町
 - 事業内容: 河道拡幅 延長1,740m
 - 事業期間: 平成23年度～

- 現況流下能力: 約10m³/s
- 計画流量 : 30m³/s

事業前

- ◆ 川の断面が小さく、蛇行しているため浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

出水時の水位

事業後

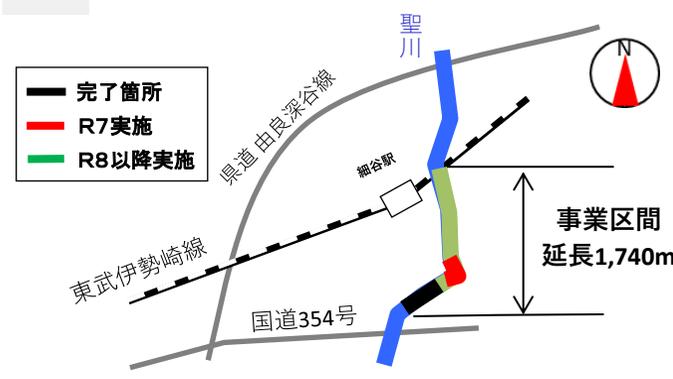
- ◆ 川幅を広げることにより、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、河道拡幅に合わせて聖中橋の架替工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	140.4ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	1,358戸

実施後(目標)
0ha
0戸

事業のすすみ具合



事業完了

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を広げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・大雨の時はすぐに増水して非常に危険である。(地元住民)
- ・早く改修を進め、安心して生活できるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市中根町～新田市野井町
- 事業内容: 河道拡幅 延長6,040m
- 事業期間: 平成4年度～
- 現況流下能力: 約10m³/s
- 計画流量 : 61m³/s

事業前

◆大雨の時、水が一度に小さい河道に流れ込むため、河川が氾濫しました。(平成29年10月)



事業前の状況

事業後

◆川幅を広げ、流せる水量を増やすとともに、調節池に水を貯めることにより下流へ流れ込む水の量を減らし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	419.1ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	870戸

実施後(目標)
0 ha
0 戸



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、護岸工事を実施します。



一級河川 休泊川（太田工区） 河川改修事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を広げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・川が住宅地の中に入り組んでいて、大雨の時に危険を感じる。(地元住民)
- ・周辺地域住民の意向をふまえて計画し、安心して静かな生活ができる場所にしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市内ヶ島町
- 事業内容: 河道拡幅 延長350m
- 事業期間: 令和7年度～
- 現況流下能力: 約23m³/s
- 計画流量 : 46m³/s

事業前

- ◆ 川の断面が小さいため、浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

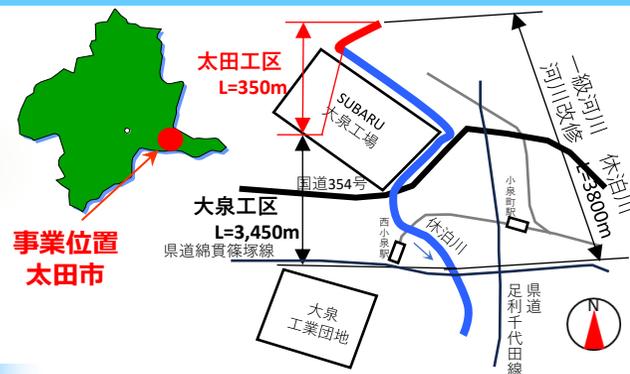
- ◆ 川幅を広げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



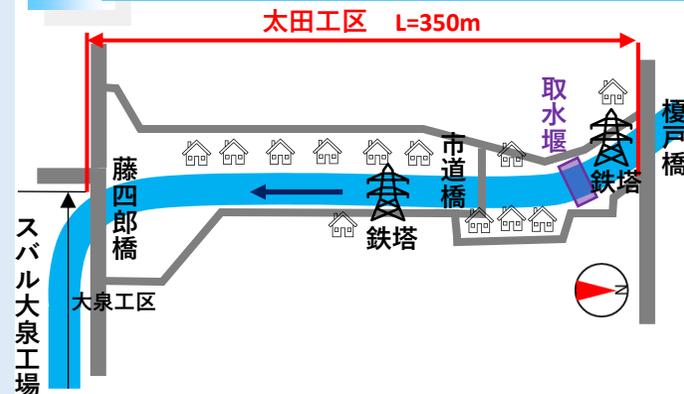
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	435 ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	4,725 戸

実施後(目標)
0 ha
0 戸



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、測量を行い、現地状況の確認を行います。



県道前橋館林線（新田大根町交差点）交差点改良事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

地域の円滑な通行を確保するため

右折車線や歩道を整備します

地元の声

- ・朝夕の渋滞を解消してほしい。(地元住民)
- ・横断歩道橋をつくって安心して通れるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市新田大根町
- 事業内容: 交差点改良 延長503m
- 事業期間: 平成27年度～
- 現在の交通量: R3年度
 県道前橋館林線 : 17,002台/日(自動車)
 県道大原境三ツ木線 : 8,575台/日(自動車)

事業前



◆右折車線がないため、渋滞が発生しています。

◆歩道が狭く通学路が危険な状況です。



事業前の状況

事業後

◆右折車線及び歩道を設置し、歩行者や車両の安全で快適な通行空間を確保します。

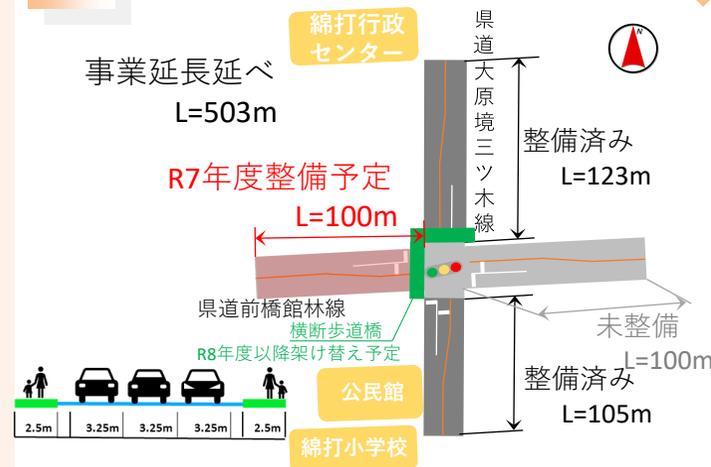


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
一方向あたりの最大渋滞長	400m	0m



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、県道前橋館林線側の道路を拡幅し、右折車線を設置します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

国道407号（追分交差点）交差点改良事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

地域の円滑な通行を確保するため

右折車線を
整備します

地元の
声

- ・右折レーンが無いため、右折待ち車両による渋滞が発生している。(地元住民)
- ・右折待ちの車を避けるために、直進車が路肩に入り込み、歩行者と接触する危険がある。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市東金井町
- 事業内容: 交差点改良 延長262m
- 事業期間: 令和5年度～

- 現在の交通量: R3年度
国道407号 : 18,484台/日(自動車)
県道太田桐生線: 13,393台/日(自動車)

事業前

◆国道407号直進待ちの車両が連なり渋滞が発生しています。



事業前の状況

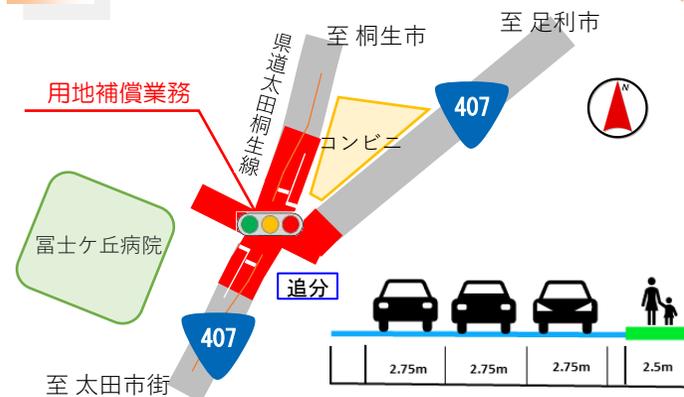
事業後

◆交差点形状を改良し、右折車線を設置することで渋滞を緩和し、円滑な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き、用地取得を進めます。



成果を示す項目	実施前
渋滞損失時間の削減量	0万人時間/年
一方向あたりの最大渋滞長	280m

実施後(目標)
3.5万人時間/年
0m

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道足利伊勢崎線（強戸工区）現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化による産業の発展を図るため

道路を拡幅します

地元の声

- ・工業団地から太田強戸SICへ向かうアクセス性を良くしてほしい。(地元企業)
- ・渋滞を減らすために、道路を拡げてほしい。(道路利用者)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市上強戸町～吉沢町
- 事業内容: 現道拡幅 延長 1.8km 道路幅 25.0m
- 事業期間: 平成23年度～
- 現在の交通量: 14,487台/日(自動車) (R3年度) 13人/12時間(歩行者) 132台/12時間(自転車)
- 計画交通量: 24,900台/日(自動車) (R22年度)

事業前

- ◆ 北関東自動車道の太田強戸SICが平成30年7月に供用開始したことに伴い、朝夕には渋滞が発生しています。



事業前の状況

事業後

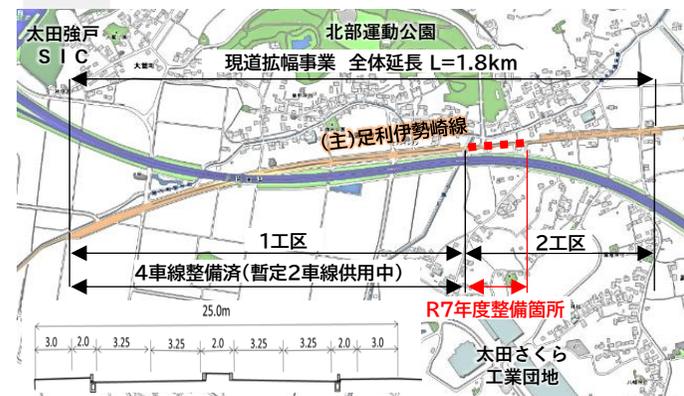
- ◆ 車道部が4車線となることで、北関東自動車道太田強戸SICへのアクセス性が向上することで、物流の効率化及び安全で円滑な通行が確保されます。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、北部運動公園へ向かう市道との交差点周辺の道路改良工事、橋梁工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
主要渋滞箇所	1件

実施後(目標)
0件(1件減少)

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

バイパス道路をつくります

地元の声

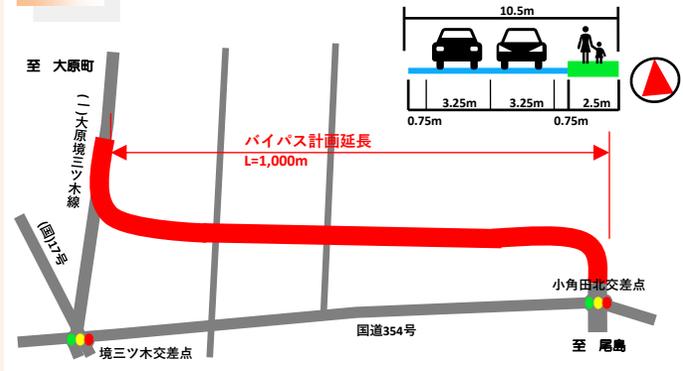
- ・太田藪塚ICまでスムーズにアクセスできるようにしてほしい。(地元住民)
- ・現道が狭く車両と歩行者のすれ違いが危険なため、安全に通行できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・生活道路に進入する車両を減らしてほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 太田市新田下田中町～小角田町
- 事業内容: バイパス整備 延長1.0km 道路幅 10.5m
- 事業期間: 令和2年度～
- 現在の交通量: 3,424台/日(自動車) (R3年度)
- 計画交通量 : 5,500台/日(自動車) (R12年度)

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



事業前

- ◆ 県道大間々世良田線から県道大原境三ツ木線への南北方向のアクセスが悪く、抜け道として車が生活道路に進入していました。



事業後

- ◆ バイパスの整備により県道大原境三ツ木線へのアクセス性を向上させ、生活道路への進入を抑制させます。



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めます。



成果を示す項目	実施前
交差点の箇所数 (県道大原境三ツ木線～県道大間々世良田線)	2箇所
車両と歩行者のすれ違い	危険(歩道なし)

実施後(目標)
0箇所(2箇所減少)
安全(片側歩道2.5m)

事業のすすみ具合



県道新田上江田尾島線（新田木崎町工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・小学校の児童が歩くのに危険だ。(地元住民)
- ・大型車両の往来が激しいため、本当に危なくて困っている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市新田木崎町
 - 事業内容: 歩道整備 延長820m、歩道幅員2.5m
 - 事業期間: 平成29年度～
- 現在の交通量: 13,794台/日(自動車) 50人/12時間(歩行者) 154台/12時間(自転車)

事業前

◆ 歩道が狭く、通学することもが交通事故の危険にさらされています。



事業前の状況

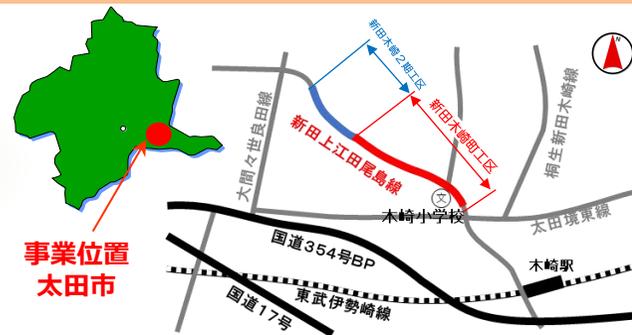
事業後

◆ 歩道を整備することにより、通学児童の安全を確保します。

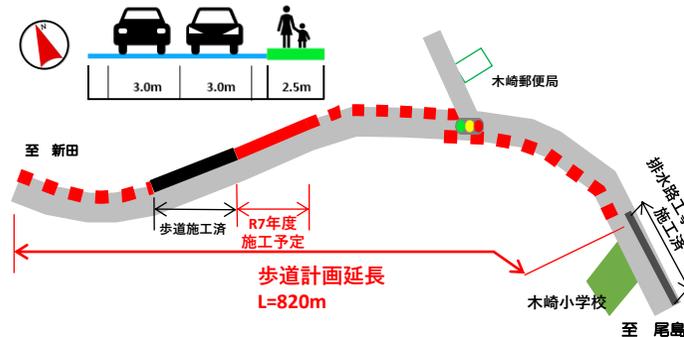


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
幅員2m以上歩道の整備率	0%	100%



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進め、歩道整備工事を実施します。



歩道整備状況

県道新田上江田尾島線（新田木崎2期工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・小学校の児童が歩くのに危険だ。(地元住民)
- ・大型車両の往来が激しいため、本当に危なくて困っている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市新田木崎町
- 事業内容: 歩道整備 延長750m、歩道幅員2.5m
- 事業期間: 令和6年度～
- 現在の交通量: 13,794台/日(自動車) (R3年度) 50人/12時間(歩行者) 154台/12時間(自転車)

事業前

◆ 歩道が狭く、通学することもが交通事故の危険にさらされています。



事業前の状況

事業後

◆ 歩道を整備することにより、通学児童の安全を確保します。



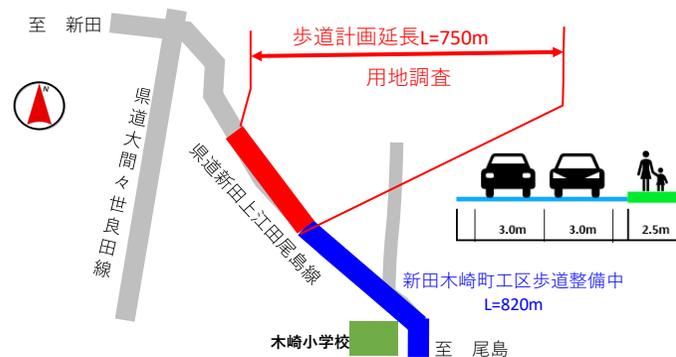
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	63%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地調査を実施します。



県道大原境三ツ木線（新田大根町工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・大型車両の往来が激しいため、本当に危なくて困っている。(地元区長)
- ・途中だけ歩道がないので、小学校の児童が通行するのに危険だ。(児童保護者)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市新田大根町
- 事業内容: 歩道整備 延長370m、歩道幅員2.5m
- 事業期間: 令和5年度～
- 現在の交通量: 8,575台/日(自動車) (R3年度) 4人/12時間(歩行者) 34台/12時間(自転車)

事業前

◆ 歩道が狭く、通学することもが交通事故の危険にさらされています。



事業前の状況

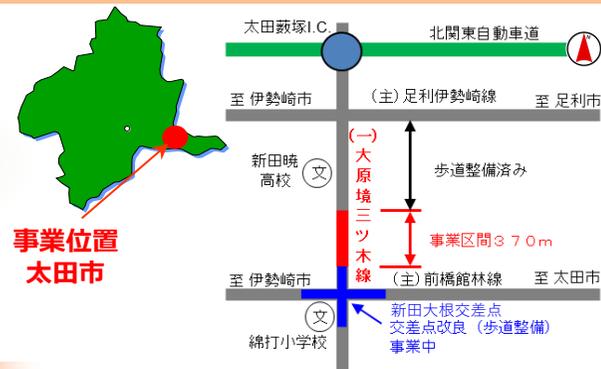
事業後

◆ 歩道を整備することにより、通学児童の安全を確保します。

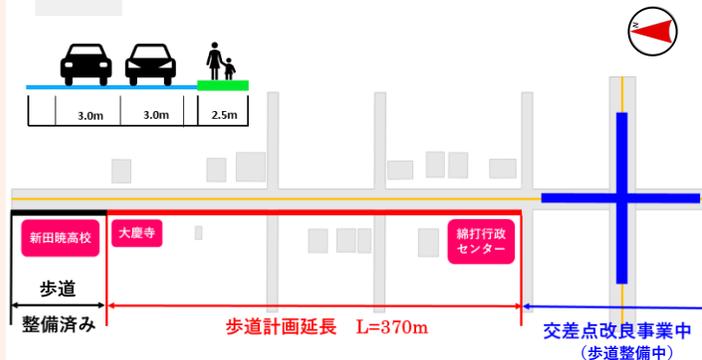


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
幅員2m以上歩道の整備率	0%	100%



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を実施します。



県道妻沼小島太田線（福沢町工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・朝の通勤時間帯に歩行者が多く危険であるため、歩道を整備してほしい。(地元住民)
- ・児童が安全に歩けるように歩道を整備してほしい。(学校関係者)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市福沢町
- 事業内容: 歩道整備 延長170m、歩道幅員2.5m
- 事業期間: 令和6年度～
- 現在の交通量: 11,220台/日(自動車) 35人/12時間(歩行者) 197台/12時間(自転車)

事業前

◆ 沢野小学校北側エリアにおいては、西側の歩道が未整備のため通学児童が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

◆ 歩道が設置されることにより、安全に通行できるようになります。

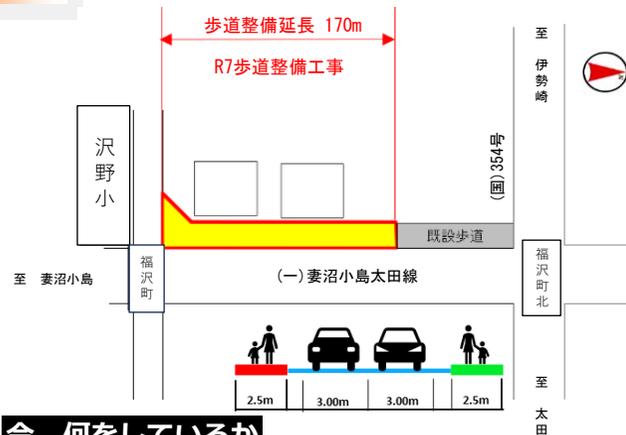


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
幅員2m以上歩道の整備率	15%	100%



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、歩道整備工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了